

公表: 令和6年3月1日

事業所名 児童デイサービス ドリーム中央

	チェック項目	どちらともいえない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		年齢や発達段階等を考慮しグループ分けをする等して適切なスペースになるよう配慮している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		お子さんの発達段階や年齢に応じて個別対応が出来るよう増員する等の配慮をしている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		写真やホワイトボードを用いて視覚的に情報を得られるよう配慮している。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清掃、消毒は毎日継続して行っている。活動に合わせて間仕切りや机の移動等を行っている。 ・宜現場からの声を元に、設備の改善を図り業者による清掃も導入している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		月に1度、全職員が参加してミーティングを行い活動内容やお子さんの対応を振り返り見直しを行っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・定期的に事業所評価を実施し、保護者からの意見等を把握し改善に努めている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		集計結果はホームページにて公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・導入を検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部講師を招いた社内研修及び社外研修に全職員が参加している。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的な面談や提供記録、送迎時等に保護者からのニーズを確認したうえで行っている。課題や目標を設定し作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		月齢に合わせたアセスメントシートを使用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに則した支援項目を設定している。全項目において、小集団生活での様子や面談して保護者の意向の確認、各関係機関との情報共有を実施し、個別支援計画の作成を行っている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		全職員が児童の個別支援計画を把握し、支援方法について職員間で共有し統一した支援を行えている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		利用予定のお子さんに必要な支援やプログラムを職員間で意見や案を出し合い、月ごとに立案している。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			実施した活動を毎度見直し、お子さんが楽しく参加できるように復習だけでなく新しい内容を盛り込みながら検討している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			専門職との個別活動を組み込みながら作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に当日の担当職員を中心に活動内容やねらい等を職員間で話し合われている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育中に気付いた点や、送迎の際に保護者より受けた情報を管理者や現場職員と振り返り次の療育に活かせるよう話合っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援当日に提供記録以外にも個人記録にてお子さんの様子を具体的に記録するよう心掛けている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、またはお子さんの状態に応じて日々の記録や面談を活用し支援計画の作成、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児発管等と複数名で参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて電話連絡やケース会議に参加している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当見なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当見なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートシートを活用している。又、必要に応じて電話連絡や訪問、見学の受入れを随時行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートシートを活用している。又、必要に応じて電話連絡や訪問、見学の受入れを随時行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			札幌市自閉症、発達障がい支援センターおがなどの研修を受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			地域行事や公園遊び等で機会をもっている。系列保育園との交流も検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会の研修や地域で行う集まりに積極的に参加し、地域の方や事業所同士の横の繋がりを築き、普段の支援で連携、協力できる態勢を築けるよう努めている。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			提供記録、送迎時、必要に応じた電話連絡や面談等を通して共通理解を図り支援を行っている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者からの相談や悩みを受けた際は、面談や電話連絡を通して迅速に対応している。また、今年度は茶話会や就学前相談会を実施した。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			作成後、内容を確認してもらい了承を得ている。また要望があれば記入して頂いている。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談を通して保護者の気持ちに寄り添い助言、提案を行っているが、提供記録や電話連絡、送迎時の時間を通して必要に応じて行っている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			茶話会、就学前相談会を実施している。	
	㉔	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			送迎時や連絡ノートにて保護者からの申し入れがあった時には、管理者に報告し迅速且つ可能な限り要望に沿えるよう対応している。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ドリーム通信、ブログ、インスタグラムにて発信している。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			契約時に説明を行い、全職員が十分に注意をし適切に取り扱っている。	
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんや保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			スペースの関係上招待は困難だが地域行事への参加や訪問行事を取り入れ地域との交流を図っている。	
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルを策定し、月に1度訓練を実施している。また実施内容を契約時やドリーム通信、ブログ、インスタグラム、連絡帳を通して知っている。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月様々な災害、非常事態を想定した避難訓練を行っている。	
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			毎年、持病についての調査を行い、情報を更新し全職員への周知徹底を行っている。	
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			全職員が常に把握できるよう、アレルギー表を提示している。食物アレルギーの引き起こす重要性を認識し、全職員で共有するだけでなく食物を提供するときには声を出して互いに確認し合っている。	
㉝		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事案があった際は報告書を作成し、ミーティングの時間を活用し全職員に共有、再発防止に努めている。	
㉞		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修や虐待防止のためのチェックリストを行っている。	
㉟		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			お子さんの安全を考慮し行動を制止させて頂く場合について、支援計画にて保護者の了承を得ている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和6年3月1日

事業所名 児童デイサービス ドリーム中央

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数や年齢によって運動ルームや個室を活用し十分なスペースを確保している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			お子さんの発達段階等に応じ基準よりも増員し配置している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段には手すり、滑り止めを設置し、お子さんに合わせた視覚的教材の導入や、環境設定に配慮し支援を行っている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月に1度ミーティングを行い、活動内容やお子さんの対応等を振り返り、全職員で見直しを行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を基に、保護者様からの要望に沿えるよう療育内容や業務について見直しをかけている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・導入を検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部講師を招き、社内研修を実施している。また、社外研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんの成長に合わせてアセスメントシートを活用しながら様子を把握し、また面談や提供記録等を通じて保護者様のニーズや課題把握に努めている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年齢に合わせたアセスメントシートを使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員同士で意見や案を出し合い毎月立案している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			必要な支援が提供できるよう利用するお子さんに合わせて都度プログラムを検討している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学休日には、特別活動を取り入れる等工夫している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			専門職との個別活動を組み込みながら作成している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に活動担当職員を中心に活動内容やお子さんの様子を踏まえた対応が出来るよう打ち合わせを行っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育終了後、活動内容やお子さんへの対応等を振り返り、次の療育へと活かすことが出来るよう話合っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			提供記録以外にも個人記録にてお子さんの状態や保護者の方からの連絡事項を残している。また、疑問点があれば都度相談し合い全体に共有することで正しく記録をとることに繋げている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、またはお子さんの状態に応じて日々の記録や面談を活用し個別支援計画の作成、見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本活動を組み合わせた活動計画を立案し支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、職員と複数名で参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者より事前に連絡をもらうことで把握し、対応できるよう適宜調整を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					該当児なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		・前例はないが必要に応じて対応していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					該当児なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				必要に応じてお子さんの状態や支援内容等の情報を共有し、統一した支援が出来るよう努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		地域行事への参加等を積極的に行っている。児童館等との交流も検討していきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				子ども部会の研修や地域で行う集まりに積極的に参加し、地域の方や事業所同士の横の繋がりを築き、普段の支援で連携、協力できる体勢を築けるよう努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				提供記録、送迎時、必要に応じた電話連絡や面談等を通してで共通理解を図り支援を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				必要に応じて個別面談等も取り入れながら支援している。研修(勉強会)を開催した年度もあり今後も取り入れたい。
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や放デイ移行時に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			提供記録の他に送迎時や電話連絡、面談等を実施することで保護者の不安の解決につなげている。	

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		茶話会を開催している。	
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの申し入れがあった時には、管理者に報告し迅速且つ可能な限り要望に沿えるよう対応している。また頂いた内容はドリーム通信に掲載している。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ドリーム通信の発行並びにインスタグラム、ブログ内で発信している。	
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に説明を行い、全職員が十分に注意をし適切に取り扱っている。	
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんや保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		スペースの関係上招待は困難だが地域行事への参加や訪問行事を取り入れ地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し、月に1度訓練を実施している。また実施内容を契約時やグループ通信、ブログ、インスタグラム、連帳を通して周知している。	
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月様々な災害、非常事態を想定した避難訓練を行っている。	
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止のためのチェックリストの活用や研修を全職員へ行っている。	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		お子さんの安全を考慮し行動を制止させて頂く場合について、支援計画にて保護者の了承を得ている。	
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全職員が常に把握できるよう、アレルギー表を提示している。 食物アレルギーの引き起こす重要性を認識し、全職員で共有するだけでなく食物を提供するときには声を出して互いに確認し合っている。	
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案があった際は報告書を作成し、ミーティングの時間を活用し全職員に共有、再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。